

# <「小麦播種機の調整技術」の最終ページ加筆について>

パンフレット（平成28年8月 NO.4 発行）  
「小麦播種機の調整技術」において、  
最終ページのユンカリの調整技術③のなかで  
次のとおり加筆（下線部分）します。



③キャリブレーションハンドルを規定回転廻し、トレーに繰り出された種子の重量（g）を計測（規定回転数は、直送タイプの作業幅 2.5m の場合は 10.5 回、牽引タイプの作業幅 3.0m の場合は 4.4 回）

## ユンカリの調整手順

参考 グレンドリル資料（中セキ北海道）  
YUNKKARI取扱説明書 (<http://www.junkkari.fi/en/web/en/>)

- ①テスト前の準備
  - ・機体左側のチェーンケースカバー内の、種子繰出シャフトのリンチピンを外側に付けかえる
  - ・機体後方のリンチピン4本を外し、トレーをセットする
  - ・ボトムフラップの開度を1に設定（小麦）
  - ・キャリブレーションハンドルを取り付け、全てのフィードローラから種子が出てくるまで、時計方向に回す。リヤカバーの種子を種子ホッパーに戻して空にする
- ②P.3のチャートから目標播種量の目盛にセットする
- ③キャリブレーションハンドルを規定回転廻し、トレーに繰り出された種子の重量（g）を計測（規定回転数は、作業幅 2.5m の場合は10.5回、3.0m の場合は4.4回）
- ④計測した重量の10倍が10a当たり播種量となる
- ⑤目標播種量と測定した播種量の誤差に差がある場合は、誤差の大きさに応じて、スケールの位置を再設定して、再度播種量を調整する（③～⑤）
- ⑥目標値となれば調整終了



### ■各種調整位置

